

2015年(平成27年)4月29日(水) NO 85号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い



【加盟団体】



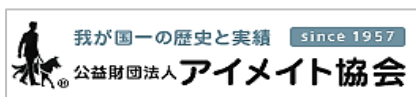
RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



自動車登録、車庫証明、出張封印

行政書士法人 **内田総合事務所**



鍛造リング 各種ジュエリー企画製造

Jewelry KOWA

ごあいさつ



気が付けば、あっという間の年月・・・。
お客様と末永くお付き合いがしたいという想いから立ち上げたケイプロ。今月から11年目の新たなスタートです。
世の中には、素敵で魅力的で方がたくさんいらっしゃることに気づきました。
たくさんの良い出会い、良きお客様に恵まれ、感謝の念が堪えません。生きている、また生かされていると日々感じます。

国の伝統、家の伝統、そしてお客様や取引先・友人知人の精神伝統を尊び、また社是を頑なに守りつつ、方向性にブレがなく正直にかつ誠実に生きていく次第です。
まだまだ規模は小さく大層な力は発揮できませんが、少しでも人様のお役に立てるよう邁進していく所存ですので、今後ともケイプロをよろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役 木戸 良樹

写真は敬愛する堀場製作所創業者・堀場雅夫様(とても魅力的な紳士です)

今月の良い話 「リーダーの心得」

かつて昭和の大碩学と謳われ、歴代首相や財界リーダーたちから師と仰がれた安岡正篤師の一番弟子、伊與田覺(いよた・さとる)さん。

100歳のいまなお、現役を貫き、背筋のピシッとした見事な立ち居振る舞いは一目見るだけで感動を禁じ得ません。

さらに、経営者を対象にしたセミナーで古典の教えを紐解く講義を1日3時間も行き、これまで延べ1000人以上のリーダーの徳性を開花させてきました。

そんな人生の達人が語った「仕事ができるリーダーに不可欠な心得」とは――。

以前、知人が会社でリストラに遭って私のもとにやってきました。

会社では係長を務め、とても有能な人でしたが、上の人から疎まれて退職を余儀なくされたのでした。既に年齢は五十に近く、なかなか就職先も見つからなかったのですが、まだ学校に通う二人の子供がおり、家でぶらぶらしているわけにもいかないため、しばらく私の仕事を手伝ってもらっていました。幸い一年くらいして三つの会社から内定をもらい、奥様と相談して、一番給料の安い会社を選ぶことにしたそうです。

私は、無事就職が決まったことをとても嬉しく思うとともに、職を失った一年の間に、その方が人間的に随分変わられたことを実感したものでした。

以前は、自分ができることを鼻に掛けたり、誇示したりすることもあったようですが、辛い浪人生活を送るうちに、謙虚に構えることの大切さを実感されるようになったのだと思います。

採用試験でもそれが伝わったからこそ、三社もの会社から内定をいただくことができたのだと思います。

今は新しい会社で元気に働いておられますが、一年の浪人生活がその人には大いに役立ったものだと思います。



『中庸(ちゅうよう)』という古典に、「上位に在りて下を陵(しの)がず。下位に在りて上を援(ひ)かず」という言葉があります。上の地位にある者は下の者と争わない。また下の者は上役の気を引くようなことばかりすべきではない、ということです。

自分の下に出来のいい部下が来ると、負けん気を起こしてこれを虐め、蹴落としてしまう人がいますが、上役は上役らしく、部下を立派に育て上げなければなりません。

また下にいる人は、早く認められたいがためにあれこれとおべんちゃらを言い、気を引くようなことばかりすべきではありません。

「己を正しくして人に求めざれば、則ち怨み無し。上天を怨みず、下人を尤(とが)めず」

自分自身を正して人に求めなければ、怨みに思うこともない。

認められないということは、相手が悪いからではなく、自分自身が十分ではないからと考える。

天を怨んだり人を咎めたりせず、まず自分を正すことが先であるということです。

論語普及会学監 伊與田覺様

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「桃李不言 下自成蹊」

私が成蹊大学を卒業後、紀伊國屋書店に入社したのは1971年。
当時から紀伊國屋書店は、書店のみならず、広範囲にわたる事業活動が大変魅力的で大学生の就職先として人気の高い企業の一つでした。

私も多分に洩れず、紀伊國屋書店に惹かれて入社試験を受けた一人だったというわけです。
以来、営業部に配属されたのを皮切りに、大学や公共図書館などに向けて書籍や雑誌、設備などを販売、また、蔵書目録のデータベース化を受託する情報製作部の立ち上げなど、様々な取り組みに携わってきました。

しかし、その歩みは、IT化や国際化の進展、電子書籍やインターネット上の商取引マゾンの登場、若者の読書離れなど、出版業界を取り巻く環境が目まぐるしく変転する中で、まさに逆境と新たな挑戦の連続だったと言えるでしょう。



そのような中で、常に私の心の支えとなってきた言葉があります。それは、
「桃李(とうり)ものいはざれども 下(した)おのづから 蹊(こみち)を成す」という言葉です。
成蹊の名は、『史記』の作者・司馬遷が「李將軍列伝」において、李廣の人物を讃えるために引用したことわざ「桃李不言 下自成蹊」に由来しています。
桃や李はものを言うわけではないが、美しい花を咲かせ、おいしい果実を实らせるため、自然と人が集まり、そこに蹊ができる。
桃や李は人徳のある人のたとえで、優れた人格を備えた人のまわりには、その人を慕って自然と人が集まってくるという意味ですが、私も遠く及ばないけれど、いつかそのような人物になりたいと願い、生きていきたいと思っていました。

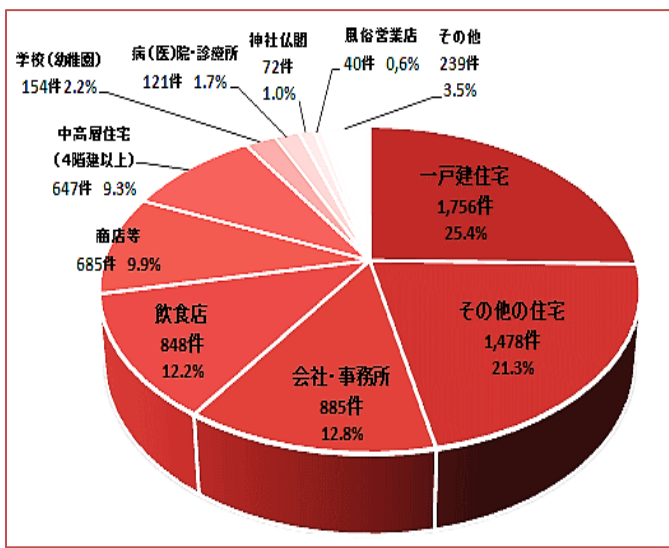
その言葉の意味を身を以て示し、私の人生に大きな影響を与えてくださった方がいます。
それは、『明治前期日本金融構造史』、『経済発展と金融』など金融学の著作を残され、成蹊大学や東洋英和女学院大学で学長などを歴任された故・朝倉孝吉先生です。
在学中から公私ともに大変お世話になり、とりわけ先生の晩年に、自伝『蹊その二』の出版を仰せつかって、そのお手伝いをさせていただいたのはよき思い出となっています。
初めて先生の東京・大塚にあるご自宅にお伺いした際のこと、いまなお忘れることができません。
名門の家に生まれ、戦前のエリート教育を受け、大学の学長まで務められた方であっただけに、どんな豪邸に住んでいるのだろうか、恐る恐る訪問したのですが、目に飛び込んできたのはごく普通のお住まいでした。

また、先生の人柄は、肩書の多さからも窺えました。これは2006年に先生がお亡くなりになられた後のこと。蔵書と遺品整理のお手伝いをさせていただいた際に、部屋から履歴書に使う証明写真がどっさり見つかったのです。
生前にお聞きしたところ、先生は公益法人の理事だろうと、ボランティア団体の役職だろうと、頼まれたことはすべて引き受けていたといえます。
その数は実に数十に上り、評議員会や理事会が開かれる度に出席し、事情で出席できない場合にも、委任状を出し、きちんと議事録を読んでいました。
そのような先生の人柄を慕って、いつもご自宅には卒業生や関係者など、多くの方々が訪れていたようです。(後略)

紀伊國屋書店社長 高井昌史様

記事提供 到知出版社

事件ファイル NO85 侵入窃盗場所別発生状況



警視庁管内におけるH26年中の場所別発生状況です。
 4F以上の中高層住宅は若干割合が少ないですが、住宅という括りだけで半分以上の56%を占めています。

一戸建ての割合が多いのはわかりませんが、以外に多いと感じたのは、その他の住宅(3F以下の集合住宅)でした。
 以前はそれほど多くなかったこの集合住宅は、オートロックや防犯カメラが未設置から、犯罪者が狙う侵入しやすいターゲットに変わってきているのでしょうか。

プロ太の小話集 NO85 『商品価値』

さんざんなインニングの後で、投手がベンチに引き返して来た。
 腰を下ろす前にバットのラックを蹴りつけた。
 するとコーチが言った。
 「そんなことするんじゃない！お前に怪我でもされたらチームが困るんだ！」



コーチの温かい言葉に感じ入り、投手は素直に反省した。
 「すみません…。こんな俺をそこまで思ってくれるなんて…。」

続けてコーチが言う。
 「足を折られでもしたら、トレードに出せなくなる。」



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？
 積善の家には余計有り
 五十にして人生を振り返り、憶うところが有り、家訓を創ってみました。
 子供たちにお金は残せないと思いますが、心に残る言葉を残したいと思います。

- 全てを受け入れる心を持つ (一度受け止めることで心が楽になる)
- 国、先祖親、友人知人に感謝する (伝統に感謝する心を持つ者 必ず見守られる)
- 人の悪口は決して言わない (天に唾を吐くことと同じ)
- 邪道でない限り断らない (YESは成功の近道なり)
- 靴は揃え 椅子は机の中に 小まめに掃除をする (乱れや汚れは自分の心の鏡)
- 所作を整える (立ち方 座り方 食事の仕方に気を配る)
- 無理をしない (心も体も休息が大切 経済は身の丈で)

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)